

森林資源・森林吸収量算定基礎調査事業（拡充）

令和8年度予算概算決定額 368,798千円（前年度 521,556千円）

＜対策のポイント＞

持続可能な森林経営に関する国際報告や、国連気候変動枠組条約及びパリ協定に基づく森林吸収量の報告に必要なデータの収集・分析等のため、**全国の森林を対象に森林の状態等について調査・解析等を実施するとともに、森林吸収量の算定及び精度の向上等を実施します。**

＜事業目標＞

- 持続可能な森林経営を評価するための国際的な指標に沿って我が国の森林の状態等を報告（モントリオール・プロセス国別報告書等への活用）
- 国連気候変動枠組条約及びパリ協定に基づく森林吸収量の適切な報告（条約事務局報告、吸収量算定の精度の向上・効率化、審査対応等）

＜事業の内容＞

1. 森林生態系多様性基礎調査（NFI）

- ①我が国の全森林から抽出した定点において、**立木調査や植生調査等**を実施し、**森林の状態と変化の動向を全国統一の手法で把握**します。
- ②調査精度の維持向上を図るため、**調査者への研修や調査マニュアルの改良等**を実施します。
- ③持続可能な森林経営を評価するための国際的な指標に沿って、我が国の森林の状態等の報告等を行うため、**全国的な森林資源の変化の動向について解析等**を実施します。

2. 衛星画像等による土地利用変化の把握

衛星画像等の比較により**1990年以降の新規植林・再植林・森林減少（ARD）**を把握します。

3. 伐採木材製品(HWP)における炭素蓄積変化量の把握

建築物等における炭素蓄積変化量算定のためのデータ収集・分析を実施します。

4. 森林吸収量算定・報告、技術的課題の分析・検討

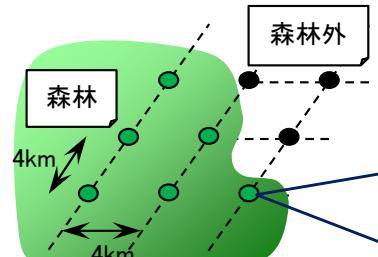
NFIに基づく森林吸収量の算定、国際審査対応等技術的課題の分析・検討等を実施します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1. 森林生態系多様性基礎調査(NFI)



①基礎調査

- ・立木調査（樹種、直径、樹高等）
- ・植生調査（植物名、優占度）等

②精度検証調査

- ・①の調査の精度を計測
- ・調査者への研修や調査マニュアルの改良等により、調査精度の維持向上を図る。

4. 森林吸収量算定・報告、技術的課題の分析・検討

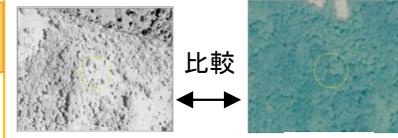
- ・森林吸収量の算定
- ・算定精度向上・効率化の取組

モントリオール・プロセス等の国際報告

国内施策の検討

学術研究に活用

2. 衛星画像等による土地利用変化の把握



3. 伐採木材製品(HWP)における炭素蓄積変化量の把握



【お問い合わせ先】

(1の事業)
(2及び4の事業)
(3の事業)

林野庁計画課
森林利用課
木材産業課

(03-6744-2339)
(03-3502-8240)
(03-6744-2295)